

平成27年度大学質保証フォーラム

知の質とは アカデミック・ インテグリティの 視点から

Quality of Knowledge from
the Perspective of Academic Integrity

平成27年 **7月27日(月)**

13:00-17:20 一橋講堂

7/28(火)に関連の研究会を行います

鼎談

濱口 道成

名古屋大学教授・総長顧問

鈴木 典比古

国際教養大学理事長・学長

野上 智行

大学評価・学位授与機構長

パネルディスカッション

Bruce Macfarlane

Professor, University of Southampton

Tim Burton

Head of Standards, Quality and Enhancement,
Quality Assurance Agency for Higher Education, UK

小林 傳司

大阪大学教授

高祖 敏明

上智学院理事長

藤垣 裕子

東京大学教授

モデレーター

田中 弥生

大学評価・学位授与機構教授



独立行政法人
大学評価・学位授与機構



平成27年度大学質保証フォーラム

知の質とは アカデミック・ インテグリティの 視点から

主催 独立行政法人 大学評価・学位授与機構
後援 公益財団法人 大学基準協会
公益財団法人 日本高等教育評価機構
一般財団法人 短期大学基準協会
認証評価機関連絡協議会



開催趣旨

昨今、大学には、知の創造、知の継承の主体として大きな期待が寄せられていると同時に社会的な信用や責任についても問われています。その一例が研究倫理に関する課題です。しかしながら、この課題は研究のみならず、教育、そして大学運営のあり方そのものにも問われるものではないでしょうか。そして、そこにひとつの示唆を与えてくれるものがアカデミック・インテグリティであると考えます。

本フォーラムでは、アカデミック・インテグリティの意味や実践のあり方を学びながら、大学が自律的に知の質保証をするための視座について考え、議論してゆきます。

Recently, as great expectations are being placed on universities as centers for the creation and succession of knowledge, their social credibility and responsibility are also being called into question. One such example is the issue of research ethics. However, this issue is one that goes beyond research and should be examined in education and in the very administration of universities. One consideration that has implications in this regard could be academic integrity.

As we learn in this forum about the meaning and modalities of practicing academic integrity, we will think about and discuss perspectives for universities to autonomously implement quality assurance of knowledge.

 **入場無料**  日英同時通訳付き

一橋講堂

101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター2F

- 東京メトロ東西線「竹橋」駅 1b出口 徒歩4分
- 半蔵門線 ● 都営三田線 ● 都営新宿線「神保町」駅A9出口 徒歩4分



独立行政法人
大学評価・学位授与機構

 参加登録 > www.niad.ac.jp > シンポジウム